

平成30年〇月〇〇日

芽室町長 宮西 義憲 様

総務経済常任委員会委員長 中野 武彦

厚生文教常任委員会委員長 正村 紀美子

第4期芽室町総合計画の検証結果報告

1. 第4期芽室町総合計画の検証について

総合計画は、これまで地方自治法第2条第4項において、市町村に対し「基本構想」について議会の議決を経て定めることとされてきました。

その後、平成23年5月2日に「地方自治法の一部を改正する法律（平成23年法律第35号。平成23年8月1日施行）」が公布され、基本構想の法的な策定義務が撤廃され、策定及び議会の議決を経るか否かは市町村の判断に委ねられることとなりました。

芽室町議会では、まちづくりの基本的計画に対する議決責任を果たす観点から、議会基本条例第14条において、「総合計画に係る基本構想及び実施計画」を議決事件として定めています。

今般、議会として、責任ある第5期総合計画の議決に向け、現在進行している第4期総合計画について、常任委員会ごとに検証を行いました。今後の第5期総合計画策定の参考とされますよう、検証結果について報告します。

2. 検証の視点

総合計画の検証は、次の3つの視点から行いました。

①施策の成果指標

総合計画の施策ごとに設定している成果指標、数値目標について、達成度を検証しました。

②町民の視点

議会は、町民との意見交換会や団体との意見交換会、議会モニター会議等の機会を通じて得られた町民の意向を参考としています。

③議員の視点

これまでの一般質問、質疑等を踏まえ検証しました。

3. 検証の方法

総合計画の検証は、次の4つの段階を経て作業を行いました。

①議員個々での検証

総合計画の各施策について、町が行った評価を参考として、議員各自が振り返りを行いました。

②各常任委員会での検証

議員各自が検証した施策の評価をまとめ、各委員会で自由討議を行い、論点整理を行いました。

③各常任委員会としての総括

委員会内における自由討議を行った後、「目標の達成度」および「委員会としての見解」を総括しました。

④議会全体としての総括

各常任委員会の総括意見について、総務経済・厚生文教常任委員会合同委員会において議論を行い、議会全体の総意である「検証結果報告」としてまとめています。

4. 検証期間

平成29年9月～平成30年1月

5. 全36施策の検証結果について

総合計画の36施策について、次のとおり評価事項を整理しています。

【1-1-1 生涯を通じた健康づくり】

町の課題認識は概ね正しい。

健康づくりは、町民自らが自分の健康へ関心と責任を持ち、具体的に行動することである。

健診・保健指導と併せて、町民の意識改革、行動変容につながる啓発活動を引き続き行なう必要がある。

また小中学生の健康教育は学校教育との共通認識が課題である。

【1-1-2 公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展】

町の課題認識は概ね正しい。

医師確保対策、町民の利便性の向上、費用の効率化などの経営努力は評価する。しかし、患者数の減少、病床利用率の低迷、運転資金の不足など経営状況は悪化している。地域医療拠点としての役割を果たしつつ、赤字解消にむけた効果的効率的な病院運営の変革が今後の課題である。

【1-2-1 心して生み育てることができる子育て支援】

町の課題認識は概ね正しい。

「発達支援システム」の定着と子ども・子育て新支援制度の取り組みが、効果的に推進されている。妊娠期から出産、育児まで途切れることがない支援体制を継続する。

配偶者や職場、社会への意識啓発は今後も継続し、女性一人に家事育児負担がかかる「ワンオペ育児」とならないような支援が必要である。

【1-2-2 児童福祉の充実】

町の課題認識は概ね正しい。

「農村保育所再整備計画」にもとづき、保育サービスの格差是正がされた。放課後の子どもの居場所づくりについては、子どもセンターが開設され、一定の環境が整ったと評価する。

保育士の待遇改善、中高生の放課後の居場所づくりに向けた検討、研究が課題である。

【1-3-1 地域で支え合う福祉社会の実現】

町の課題認識は概ね正しい。

民生児童委員の担い手不足、住民同士が支え合う共助の意識醸成並びに体制づくりが課題である。

【1-3-2 高齢者福祉の充実】

町の課題認識は概ね正しい。

やりがいのある活動に取り組む高齢者の割合が指標に達していない。

高齢者が地域で安心して生活できる体制を整備するとともに、生活支援体制整備を進める。

『介護認定率』を成果指標の一つとすることは本人からの申請を抑制する

ことにもなりかねず、指標設定の見直しが課題である。

【1-3-3 障がい者の自立支援と社会参加の促進】

町の課題認識は概ね正しい。

障害者就労支援の継続、グループホーム建設計画など着実に環境整備が進んでいる。

就労支援と同時に、重度・中度の障がい者に対しても住まいの確保、相談支援体制の確立、生活支援の充実が課題である。

【1-4-1 お互いに認め合う地域社会の形成】

町の課題認識は概ね正しい。

「女性登用率」という成果指標の設定自体が課題である。

今後はLGBT支援について幼少期からの環境づくりが課題である。

【2-1-1 担い手育成と農業支援】

町の課題認識は概ね正しい。

法人経営体や新規就農者等の支援、育成、国内外の経済政策等への対応など、芽室町農業再生協議会の機能強化が課題である。

【2-1-2 農業生産性の向上と農業の応援団づくり】

町の課題認識は概ね正しい。

有害鳥獣対策はさらに有効な手法の検討が課題である。

農業に従事する労働力不足解消への取り組みは喫緊の課題である。

【2-1-3 農地・土地改良施設等の整備・充実】

町の課題認識は概ね正しい。

土地改良事業および無水源対策は、今後も継続して計画的な事業実施をする。

災害時の営農用水のバックアップ体制が整備されていないことが課題である。

【2-1-4 地域林業の推進】

町の課題認識は概ね正しい。

国有林、民有林ともに計画的な整備を継続する。

【2-2-1 地域内循環の推進と商工業の振興】

町の課題認識は概ね正しい。

これまでの工業団地造成、企業誘致活動は十分な成果が見られた。

イベント開催を中心とした中心市街地活性化の取り組みについては、課題がある。

【2-2-2 地域資源を活用した観光の振興】

町の課題認識は概ね正しい。

「食・農業・景観」と観光振興を連携させた取り組みを今後も継続する。

本町の観光政策のビジョンが存在せず町としての方向性が見えないことが課題である。

【3-1-1 災害に強いまちづくりの推進】

町の課題認識は概ね正しい。

「地域防災計画」の見直しと日頃から町民の防災意識を高める取り組みを継続する。

【3-1-2 消防・救急の充実】

町の課題認識は概ね正しい。

消防署員の適正な配置数の確保や団員の確保が今後の課題である。

【3-1-3 防犯対策と交通安全の推進】

町の課題認識は概ね正しい。

交通安全や防犯対策を目的とした団体や警察等の関係機関、町内会などと連携を取り、安心して暮らせる環境づくりを推進する。

【3-1-4 消費者の安全安心の確保】

町の課題認識は概ね正しい。

空き家、空き地の増加、高齢化の進行など状況に応じた取り組みが課題で

ある。

【3-2-1 有効な土地利用の推進】

町の課題認識は概ね正しい。

空き家、空き地の増加、高齢化の進行など状況に応じた取り組みが課題である。

【3-2-2 快適な住環境の整備】

町の課題認識は概ね正しい。

「芽室町公営住宅長寿命化計画」「芽室町公営住宅等ストック総合活用計画」にもとづいて事業実施に取り組んでおり、今後も計画的に事業を推進する。

【3-2-3 道路交通環境の整備】

町の課題認識は概ね正しい。

道路交通環境の整備は、計画的に推進する。

農村部の移動手段の整備・検討が課題である。

【3-3-1 景観の保全とクリーンエネルギーの推進】

町の課題認識は概ね正しい。

農業廃棄物を活用した新エネルギーの導入については着実に研究が進んだ。

「芽室町公共サイン整備構想」に基づいて公共サインの整備が進んでいる。

【3-3-2 廃棄物の抑制と適切な処理】

町の課題認識は概ね正しい。

ゴミの減量化、資源化など資源循環型社会の実現に向けての取組みは評価できる。

【3-3-3 上下水道の整備】

町の課題認識は概ね正しい。

「芽室町下水道中期ビジョン」および「上水道事業施設整備基本計画」の策定により、上下水道の計画的な整備がされている。

また農村地区の集落排水、合併浄化槽の整備も計画的に進んでいる。

【4-1-1 学校教育の充実】

町の課題認識は概ね正しい。

子どもたちがいきいきと学び、人との関わりを大切にした学校教育の充実を今後も継続する。特別なニーズに対応した教育の一層の推進が課題である。

【4-1-2 生涯学習の推進】

町の課題認識は概ね正しい。

全ての世代が心豊かに暮らせるための、多様な生涯学習のあり方の検討が課題である。

図書館機能の充実など多様な学びの場の提供をさらに推進する。

【4-1-3 青少年の健全育成】

町の課題認識は概ね正しい。

自ら判断する力や責任感を身に着け、社会性豊かな青少年の育成が課題である。

【4-2-1 地域文化の振興】

町の課題認識は概ね正しい。

個々の「文化活動」に対するニーズの多様化への対応が課題である。

【4-2-2 スポーツしやすい環境づくり】

町の課題認識は概ね正しい。

社会体育施設の総合的な整備計画策定については方向が示されている。

スポーツ活動の指導者は、高齢化やなり手不足、多様なニーズへの対応が課題である。

【4-2-3 国際・地域間交流の推進】

町の課題認識どおり。

【5-1-1 徹底した情報公開と説明】

町の課題認識は概ね正しい。

情報ツールの拡大は評価できるが、見易さ、検索性など改善の継続が課題である。

農村地区のブロードバンドは、目的の確認、今後のあり方について検討が課題である。

【5-1-2 町民参加の促進】

町の課題認識は概ね正しい。

多くの町民が自治やまちづくりに関心を持ち「参加」できる取組みの拡大が課題である。

【5-1-3 地域活動の推進】

町の課題認識は概ね正しい。

地域コミュニティ＝居住地域のコミュニティではなくなっている現状もふまえた町民の地域活動を支援する方法の検討が課題である。

【5-2-1 効果的・効率的な行政運営】

町の課題認識は概ね正しい。

総合計画に基づいた行政運営は定着している。今後も町民の立場に立った計画づくりや事業実施が求められる。

【5-2-2 健全な財政運営】

町の課題認識で良い。

自治体の役割として住民福祉の向上の精神は堅持し、引き続き事業を精査し取り組む。

【5-2-3 親切・便利な行政サービスの推進】

町の課題認識は概ね正しい。

町民にとって親切便利な窓口対応の改善は課題。

電子申請メニュー拡大など町民の利便性を図ること、住民ニーズに応えるための検討・研究が課題である。